

四万十町の新しい文化施設

まちの文化が流れ、人にひらかれ、人が集まる四万十駄場

～文化的施設を「ちょっと」想像する1日～

文化的施設「ミニ」

四万十駄場フェス

2022.

7.15 **金** 16:00-20:00

場所 町立図書館(本館) 四万十町茂串町9-20



金 (ホープニングの日!!)
太郎夜市
同日開催

文化的施設(仮称)ができた、
どんなことができるかな?
一緒にわくわくしませんか?

四万十駄場フェス「ミニ」については6月後半の
区長文書で【回覧】させていただきましたが、
改めてお知らせいたします。

2022.7.11 発行
特集 | No. 17

発行 | 四万十町役場企画課 文化的施設整備推進室
お問い合わせ先 | 0880-22-3124 担当 | 大河原・松下

体験する 文化を 学ぶ

図書館の閉館時間を 20:00まで延長!
本を借り方には くじ引き のチャンス!(なくなり次第終了)

イベントメニュー 文化的施設ができたなら、毎日が楽しい! /

文化的施設 設計案内

模型や平面図を使って
どんな施設ができるのか
解説します!
施設ができたなら何が
一緒に想像してみませんか?

作ってみよう 自分だけの缶バッジ

好きなイラストや言葉を書いて
オリジナルバッジを作ろう!
小さなバッジに
何を表現できるかな?

ボードゲームに挑戦

いま話題のボードゲーム。
懐かしいものや
最新のものに挑戦して
頭を鍛えて文化に触れよう!

絵本の読み聞かせ

大人も子ども
こわ〜い話で
ひんやりしよう!
①18:30 ②19:00
各回約30分

ブックリサイクル

図書館で使わなくなった本を
次はあなたの本棚に
お迎えしませんか?
お持ち帰り用の袋は
各自ご持参ください。

本のテーマ展示

キャンプや昆虫など
テーマに特化した
本を並べます。
ワクワクする本の扉を
開いてみよう!

レファレンス ってなに?

図書館サービスの1つ
「レファレンス」について
パネル展示でお伝えします!
もっと知って、活用してみよう!

「高知県スマートフォン活用サポーター養成事業」との共同企画

これまでの実施の様子

先着 10名 無料 / 名枠限定
予約制: 0880-22-3124
企画課 松下

一 あの日を思い出す。いまが動きです。一
おもいでケータイ再起動
電源が入らなくなったケータイを再起動させ、
大切な思い出をとり出して、プリントした写真をお渡しします。
いわゆる「ガラケー」で、バッテリーが取り外せるものが対象です。
故障等の原因により再起動できない場合もありますが
とにかく一度ご連絡ください! 懐かしい思い出がよみがえるチャンスです!

協力 au ショップ 須崎支店

健康アプリでは
豪華賞品が
当たるチャンスが
盛りだくさん!

健康アプリ・ スマホお困りごと相談会

普段の健康活動をアプリに記録して
お得に楽しく元気にしよう!
その他スマホのお困りごとなど
なんでもお伺いします!

• 図書館の駐車場はイベントで使用するため、駐車場は旧役場本庁舎跡地をご利用ください。
• 新型コロナウイルス感染症の拡大や荒天の場合は、延期または中止する可能性があります。
その場合は、町ホームページ・CATV文字放送・SNSを通じてお知らせします。
• イベントメニューは当日の天候等によって変更させていただく場合があります。あらかじめご了承ください

Attention please!

令和6年度開館予定 / まちの文化が流れ、人ひらかれ、人が集まる 四万十駄場

四万十町の新しい文化的施設 (仮称)

今回の号では、意見として多くいただく

四万十町に、この規模の施設が必要なの？ の疑問にお答えします！

※今回の内容は5/16更新のCATV「行政放送」でもお伝えした内容です。

<p>延床面積としては、 現図書館・美術館の 約3倍となります</p>	<p>▼現図書館・美術館  615.65㎡</p>	<p>▼文化的施設(R6開館予定)  約2,000㎡</p>
--	--	---

現在の図書館・美術館の建物としての現状と課題について

- 課題1** 約35年前に法務局とその宿舎として建てられた建物を利用しているため、図書館・美術館としての用途に適した仕様になっていない。
- 課題2** 通路や書架と書架の間隔が狭いことに加え、収蔵できる冊数にも限りがあるため、手が届きづらい高さまで本を置かざるを得なく、車イスやベビーカー等では利用しづらい状況。また、トイレも車イス等で利用が困難であったりと、公共施設としてのユニバーサルデザインに欠けている。
- 課題3** 本を読んだり、学習する場所が少なく、また、行事の際に会場として自由に使える場所や物品の収蔵場所など全体的にスペースが足りていない。
- 課題4** 美術作品の収蔵スペースが限界に達している。また、作品の適切な温度・湿度管理ができない状況。



こういった課題の解決や以下の要素によって、現施設よりも広い面積を必要とします。

- ユニバーサルデザイン
- 望ましい蔵書数
- 作品の適切な収蔵環境
- 移動図書館車などの導入
- 事務スペースの改善
- 展示・コミュニティ機能の追加

開館までの流れ(予定)



現在の施設よりも面積が増える主な要因

ユニバーサルデザインに配慮した設計

- トイレ▶オストメイト対応のものや、介助用ベッド等がある多機能トイレと子ども用トイレを設置します
- 授乳室▶新たに設けます
- スロープやエレベーターを設置します

書架と書架の間隔を車イスと歩行者がすれ違い可能な130cmの間隔で、高さにも配慮した設計とします
※間隔が異なる箇所もあります



▲オーデビア高知図書館の書架の間隔も130cmです

図書や美術作品の適切な収蔵環境の整備

現在の蔵書数：本館：45,743冊、大正分館：31,506冊(令和2年度末)
望ましいとされている蔵書数*：四万十町の人口規模だと…11～12万冊
…望ましいとされている蔵書数の基準よりもかなり低い
→文化的施設では最大で8万2千冊の図書を収容できる設計とします
(大正分館とあわせて11万2千冊予定)

* 出典：図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて「これからの図書館の在り方検討協力者会議」報告書 平成24年8月 これからの図書館の在り方検討協力者会議



広い町域の地域間格差をなくす取り組みである「移動図書館」や「サテライト貸出」に対応可能な核となる施設として、適切な蔵書数やそれらに対応する設備とします

美術作品の収蔵スペースの確保や適切な温度・湿度管理が可能な環境とします

その他

読書や勉強をしたり、グループで過ごせる座席を100席以上設置します
貸出カウンターなど窓口の改善や美術館の作業スペースを設置するなど事務スペースを改善します

